



## WORKSHOP 『オートフィクション』プリシラ・ヤン AUTOFICTION by Priscilla Yeung

会期：2024年7月6日（土）、7日（日）15:00-16:30 \*両日とも同じプログラム

会場：天神山アートスタジオ 1階

入場・参加無料

来場者数：6日12名+7日9名=合計21名

アーティストについて：プリシラ・ヤング/ Priscilla Yeung

分野：文芸 活動拠点：香港

### ワークショップレポート

ロンドンを拠点として作家活動を行うプリシラさんは、普段どのように作品を構想しているのでしょうか？

プリシラさんは、物語というのは急に思いつかれるものではなく、普段の生活の中で積み重ねられていく記憶の素材から、情報を処理し想像力と創造力を駆使することで、新しい物語が生まれる、と言います。

つまりは、現実世界(ノンフィクション)を起点として物語世界(フィクション)を作り出しているのです。

本ワークショップでは、現実世界における、自分の思い出から出発し、視点・場所・時代などに編集を加えることで徐々にフィクションに近づけていき、自分だけの物語の制作、つまりはオートフィクションを作り出すことを試みました。登場人物を変える人、語り手を変える人、季節を変える人、みなさん各々のやり方で自分の現実に加えていきます。少しの手を加えるだけで、印象が大きく異なる物語に変貌することに大変感動しました。

みなさんが作ったオートフィクションはオンラインマガジンで掲載される予定です。



## Exhibition\_後藤小町/Komachi Goto\_ 対蹠的 : 地球上の正反対側\_prototype ANTIPODAL

会期 : 2024年7月9日(火)、10日(水) 9:00-21:00

会場 : 天神山アートスタジオ 1階 展示スペース

入場・参加無料

来場者数 : 426名

アーティストについて : 後藤小町/Komachi Goto

分野 : 美術 活動拠点 : イギリス

展覧会「対蹠的 : 地球上の正反対側」について

この作品は今年の8月にST,MARGARET HOUSE GALLERY EDINBURGH で開催予定のプレビューです。

A NEW PRIMER メンバー3人とゲスト美術家3人で ANTIPODAL というテーマで作品を作り上げていきます。

ANTIPODAL, 対蹠的 : 地球の中心を挟んで正反対の位置にある二つの場所 : Google の直訳です、が、私はこのテーマには何か、どこかこの世界ではないものを表現すること、にしようとしています。

今回展示スペースで作成 : 試行錯誤中の作品は、スケッチ、試作です。紙面上と頭の中だけでは実際にできるかどうかわからないので、ここにて実際にどうすれば良いのか試しています。



## Exhibition\_ウフナーロヴァー 七海子/Namiko Uchnárová\_ 渡り/Crossing...

会期 : 2024年7月11日(木) 9:00-21:00

会場 : さっぽろ天神山アートスタジオ 1階 展示スペース

入場・参加無料

来場者数 : 256名

アーティストについて : Namiko Uchnárová/ウフナーロヴァー 七海子

分野 : 美術 活動拠点 : スロバキア

展覧会「渡り」について

このプロジェクトは、新しい言語の習得過程、以前はアクセスできなかった領域に渡っていく過程についてのもので、その美しさについてのことであり、同時に、自分のスキルのいくつかを言語の壁の向こうに置き去りにしてしまうもどかしさについてのものでもある。



**Exhibition\_ラモ・ユエ・リュウ/Lhamo Yue Liu\_ 練習曲 : カムイを追い求めて/An Etude: The Pursuit of Kamuy/练习曲 : 追寻 Kamuy**

会期 : 2024年7月13日(土) -15日(月・祝) 9:00-21:00

会場 : 天神山アートスタジオ 1階 展示スペース

入場・参加無料

来場者数 : 480名

アーティストについて : ラモ・ユエ・リュウ/Lhamo Yue Liu

分野 : 美術 活動拠点 : 中国

展覧会「練習曲 : カムイを追い求めて/An Etude: The Pursuit of Kamuy」について

本展はアーティストが滞在中にアイヌの文様に関する理解を深めていくためにおこなった9枚のドローイングといくつかのスケッチで構成されます。彼女はチベットの計量比率の方法論(造像度量経)を使用し、アイヌの文様を繰り返し学び描くことで、数字と比率の研究を通じて文様の中の神性(カムイ)を探求したいと考えています。アニミズムはしばしば、今日人類にもうひとつの可能性-おそらくは出口-を提示してくれる。アイヌの人々は、カムイを自分たちの周りに存在し、人間に大きな影響を与える様々なものの精霊と呼んでいる。アイヌの人々は、カムイはあらゆるものの中に存在し、人間を守り、人間が暮らしやすいように手助けをしてくれると信じており、人間は美しい音楽や踊り、リズムに合わせて動く衣服の刺繍などでそれに応える必要があると考えている。カムイは、植物や動物、火、水、風、山、川、そして私たちが毎日使う道具の中にも存在し、アイヌの人々の文化的図像やアイヌの衣服の模様の中にとらえられ、記録されてきた。異なるシンボルは異なる意味を持ち、これらの視覚的イメージは衣服に保存され、長い期間にわたって永続することができた。儀式の一部では、人の動きに合わせて衣服の背中模様が動くが、これは神への感謝の表現と考えられている。気になるのは、アイヌの文様が動くことで放出される生命エネルギーとはどのようなものなのか、ということだ。おそらく文様は、作られた瞬間にラマツト(魂)を運ぶ役割を果たすのだろう。

札幌の天神山アートスタジオでの滞在中、私はアイヌ民族の文様を繰り返し研究し、線の動きや色ブロックのメタファーに、このラマート（魂）の存在を見出そうとした。繰り返し描かれた絵から精神性を測ることに加え、チベットの計量比率の方法論（造像度量経）を応用して、アイヌの古代のトーテムについても学ぼうとした。伝統的なチベットのタンカ画では、さまざまな彫像が異なる比率を持っており、その比率に従って描かなければならない。定められた比率は、画家が精神性を再現するための規範であり、対象への敬意を示すものである。アイヌの衣装に描かれたトーテムにも一定のパターンがあり、滞在中、私はトーテムのパターンを測定して縮尺を決め、線のエネルギーをとらえ、これらの古代のパターンをオオバコ紙に再現して語り直した。  
(アイヌ文化に関する考察は、国立アイヌ民族博物館 ウポポイの資料を参考にしました。)



## Exhibition\_ディアナ・ボネット・ハバコーン/Diana Bonet Haberkorn\_ ときをゆらす /SWAYING TIME

会期：2024年7月20日（土）-21日（日）9:00-21:00  
会場：さっぽろ天神山アートスタジオ 1階 展示スペース  
入場・参加無料  
来場者数：797名

アーティストについて：ディアナ・ボネット・ハバコーン/Diana Bonet Haberkorn  
分野：美術 活動拠点：スペイン

### 展覧会「ときをゆらす/SWAYING TIME」について

「komorebi」という翻訳できない日本語がある。それは木々を通して降り注ぐ日光という意味だ。このインスタレーションは、15日間にわたり、毎日朝10時に同じ場所でももれびを追うことから作られている。このプロセスを通して、私はこもれびの揺れから確認できる、その瞬間の自分自身の存在を記録した。これらの模様は、私の個人的な経験と日本の文化、自然、素材を結びつけることを意図し、描かれたパターンを用いて障子をカットしている。

このようにして、日本での私の個人的な時間の経過が示され、数日間を通して得られた様々な記録をもとに、最終的にユニークな新しいパターンが構築される。こうして私は、その瞬間の私の個人的な経験を共有する。それは私の現在であり、今は過去の経験である。



## Exhibition\_マヒュー・バヤット/Machiel Beijaert &スワンチャ・クーパスホーク/Zwaantje Kurpershoek\_ 物体が私たちがどうあやつるか/How the object plays us

日時：2024年7月26日（金）-27日（土）9:00-21:00

\*本展は、各日アーティスト2名によるそれぞれの個展として開催。

会場：天神山アートスタジオ 1階

入場・参加無料

来場者数：654名

アーティストについて：

マヒュー・バヤット/Machiel Beijaert &スワンチャ・クーパスホーク/Zwaantje Kurpershoek

分野：美術 活動拠点：オランダ

展覧会「物体が私たちがどうあやつるか」について

《マヒュー》

「オブジェクト」の意味は、言語によって異なる意味を持つ。英語では、オブジェは生きているものであると同時に無生物であることもある。日本語では「物体」は無生物のことであり、生きているものは別の呼び方をする。存在するすべての物体は、複数の異なる分子によって形成され、結合している。この世に存在するすべてのものは、これらの同じ材料から作られている。私たち人間もまた、私たちと他の物体との間の結合と非結合を選択している。私たちはいつ、どのようにして、肉体的あるいは精神的に他の物体と一緒にいることを決めるのだろうか？モノを掃除したり手入れしたりする儀式を通じて、絆が深まることもある。物理的に遠く離れていても、他の存在とつながっていられるのだろうか。

《スワンチャ》

天神山アートスタジオでのレジデンス期間中、私はビデオゲーム「どうぶつの森」の鮮やかなインテリアと、日本に実在している実際の収納スペースのドローイングを組み合わせた、木製のペインティング・シリーズを制作した。

ビデオゲーム「どうぶつの森」では、プレイヤーはアイテムを集め、ディスプレイし、大切に管理する。このバーチャルなキュレーション行為は、ガレージや庭、物置に保管されている実態とは対照的である。この2つの世界を文字通り重ね合わせる絵画作品の制作を通して、私たちがバーチャルと物理的な空間の両方において、モノとどのように関わっているのかを探っている。

ペインティングと同時に展示しているのは、「Tom Nook (トム・ヌック)」と題された木製の彫刻である。この彫刻は、2次元と3次元の両方の側面を同時に暗示し、次元と戯れている。ビデオゲームの「どうぶつの森」では、トム・ヌックは「あなたの島」の管理人である。ゲームを始めるには、プレイヤーはトム・ヌックから借金をしなければならぬ。



### Exhibition 宙宙/ChuChu\_うつろう景色/Flowing Landscape

会期：2024年9月14日(土) - 9月16日(月・祝) 9:00-21:00

会場：天神山アートスタジオ 1階 展示スペース・C

入場・参加無料 来場者数：928名

アーティストについて：宙宙 /Chu Chu

分野：美術 活動拠点：日本

水を中心に、地形や地質など自然環境のリサーチを行い、その過程で出会うものや展示環境の要素を組み合わせ、日常から生えるようなサイトスペシフィックなインスタレーションを展開する。『宙宙』は、鍋木麻美を中心に、個人の枠を超えて作品創造に関わるすべてのものを指す。

展覧会「うつろう景色」について

昨年の9月にさっぽろ天神山アートスタジオを拠点に北海道の自然をリサーチしたことがきっかけで、今年の春から北海道に移り住みました。阿寒摩周国立公園の小さな温泉町で暮らし、毎朝原始の森を散策しています。静かな自然の中での暮らしは、私自身にゆるやかで大きな変化をもたらしているように感じています。

今回も昨年と同じ時期に滞在しているため、昨年リサーチを行った場所の変化を再確認しています。その過程で集めたファウンドオブジェクトや、さっぽろ天神山アートスタジオにあるマテリアルを用い、ツタが周辺環境に在るものに絡まりながら太陽に向かって伸びるように、偶然性を取り入れながら制作していきます。そして、そこにどんなカタチが現れるのかを発見したいと思います。



## Workshop\_滞在アーティストのカルロ・ゴリ/Carlo Goriさんと映像作家のローリー・ケンプ/Laurie Kempさんによるワークショップ『Circling』

会期：2024年9月19日（木）19:00-21:00

会場：天神山アートスタジオ 1階 交流スタジオA

入場・参加無料 来場者数：7名



## Exhibition\_Carlo Gori/カルロ・ゴリ\_Circles, Squares, and Other Rectangles/円、四角形、そしてその他の長方形

会期：2024年9月18日（水）-9月26日（木）9:00-21:00

★トークイベント：9月25日（水）19:00～21:00

会場：さっぽろ天神山アートスタジオ 1階 入口横黒板

入場・参加無料 来場者数：2,614名、トーク参加者数：19名

アーティストについて：Carlo Gori/カルロ・ゴリ

分野：美術 活動拠点：日本

展覧会「Circles, Squares, and Other Rectangles/円、四角形、そしてその他の長方形」について  
展示では、天神山アートスタジオでの滞在中、札幌周辺の日常生活と田中学園での美術教師としての活動を、遊び心のある形でまとめたいと考えています。出会った人々、訪れた場所、そして経験したことを自由に表現し、再現しています。



## Exhibition ジェフ・チャン/Jeff Chan\_もう一度泳ぎを学ぶ/Learning to Swim Again

会期：2024年9月18日（水）-9月22日（日）9:00-21:00

会場：天神山アートスタジオ 1階 和室

入場・参加無料 来場者数：1,684名

アーティストについて：Jeff Chan/ジェフ・チャン

分野：美術 活動拠点：日本

展覧会「もう一度泳ぎを学ぶ/Learning to Swim Again」について

もし地球の裏側に引っ越したら、自分の人生はどうなるだろうと考えたことがあるだろうか？誰と出会うだろう？どのように適応するだろうか？どんな冒険が待っているのだろうか？私はこの1年間、東京で働きながら、こうした疑問に答えを出してきた。

この展覧会は、私が東京と天神山アートスタジオで制作した作品からなる、集大成といえる展覧会だ。

来日初日のオリエンテーションで、誰も自分のことを知らず、言葉も通じない土地での生活についてスピーチをした女性がいた。彼女は、移住する前の自分に戻るために、自分自身とつながる方法を見つけることについて話した。彼女は、そのプロセスを金魚のように、ひとつの水槽から別の水槽に飛び込み、再び泳ぎ方を学ぶようなものと表現した。彼女は正しかった。

時間が経つにつれて、私はカナダを離れる前に作っていた作品を、新しい環境からの影響を受けながら続けるようになった。私は再び泳ぎ方を学んでいたのだ。その結果、今回の展覧会では、故郷での思い出と、最近見つけた新しいアイテムがミックスされ、私が幸せを見いだせるような作品に仕上がった。

日本での時間は終わりに近づいているが、私は出会うべき人に出会い、冒険に出かけたことをうれしく思う。私は私からの質問に答えた。この旅に関わったすべての人に感謝します。



## 滞在アーティスト MADZINE、AkiYo による展示とイベント

会期：2024年9月28日（土）open 12:00～（絵画作品など展示スタート）、live 17:00～

会場：さっぽろ天神山アートスタジオ 1階 展示スペース 入場・参加無料

来場者数：484名

アーティストについて：

MADZINE /マッドザイン 分野：美術、音楽 活動拠点：台湾、日本

明夜/AkiYo 分野：美術、舞踏 活動拠点：日本

イベントについて

イベントでは映像作品、絵画作品の展示に加え、ライブパフォーマンスも行いました。

ゲストとして、音楽アーティストのHATAKEN、TRANSFLUXIONが参加。



## Exhibition \_ナオミ・シントニ・ダイベル/Naomi Shintani Deibel\_ハーブハウス/The Herbhause

日時：2024年9月27日（金）、28日（土）9:00-21:00

★トークイベント：9月25日（水）19:00～21:00

会場：天神山アートスタジオ 1階 和室

入場・参加無料

来場者数：615名、トーク参加者数：19名

アーティストについて : Naomi Shintani Deibel/ナオミ シンタニ ダイベル

分野 : 美術 活動拠点 : オーストラリア

### 展覧会「ハーブハウス/The Herbhause」について

ハーブハウスへようこそ！

札幌出身の日本人の母を持ち、ドイツで育った私は、常に札幌との深いつながりを感じてきました。毎年夏になると、日本の祖母の家を訪れました。祖母の家は元病院で、一時期はアロマ&ハーブハウスでした。

この夏、その家は不確かな未来に直面しています。取り壊されるのでしょうか？保存されるのでしょうか？

それとも新しい何か生まれるのでしょうか？ひとつだけ確かなことは、この家には数え切れないほどの思い出があるということです。

「ハーブハウス」と題された私の展覧会は、この家の豊かな歴史と、壁の中に残る生活の痕跡を掘り下げるものです。If Walls Could Speak（壁が語る事ができたなら）というコンセプトを通して、私はこの家が長い時間をかけて静かに守ってきた物語、記憶、痕跡を探ります。これらの壁は、この家での集い、日常生活、世代交代を目撃してきました。レジデンス期間中、私はポータブルスキャナーを使って家の壁や床をデジタル化し、その空間と歴史を記録しました。出来上がったデジタル画像は、しばしば不具合が見られますが、過去の微妙な痕跡や印を浮き彫りにしています。このアーカイブ素材は、家の間取りを反映したフロア・インストールの基礎となります。この再現された空間を歩くことで、来場者は記憶、場所、時間の微妙な相互作用に誘われます。



### Exhibition シンス/XINs 森の採集/Forest Collection

日時 : 2024年9月25日(水) - 9月27日(金) 9:00-21:00

会場 : 天神山アートスタジオ 1階 展示スペース

入場・参加無料

来場者数 : 623名

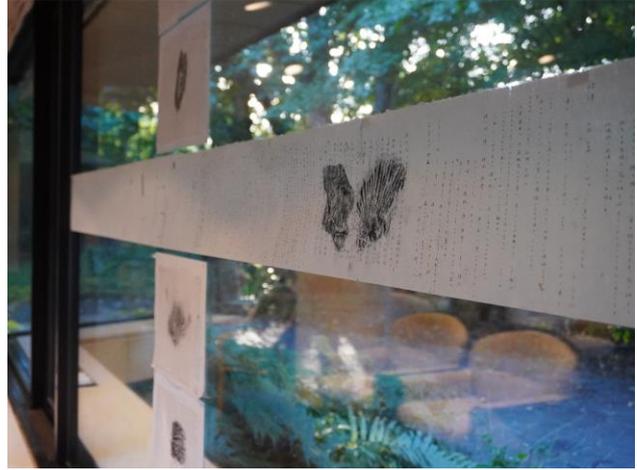
アーティストについて : XINs/シンス

分野 : 美術 活動拠点 : 台湾

### 展覧会「森の採集/Forest Collection」について

森の採集

毎日天神山の緑地を散歩しながら、写真を撮りつつ、自分が経験したことをどう記録しようかと考えています。空気、色、音、匂いなど、同じ景色でありながら、毎日違った感覚を与えてくれます。近くの神社には300歳の木があり、その枝幹を見ながら、長い時間を経て現在の姿になったことを想像すると、強い力を感じます。河辺の方向に進むと、小さな森と公園があり、遠くの山の景色もとても美しいです。この場所がとても好きです。



## Exhibition 成清祐太 / Yuta Narikiyo 水の庭(標紙野に顯つ樹)

日時：2024年9月29日(日)-10月3日(木) 9:00-21:00

会場：天神山アートスタジオ 1階 談話交流室 窓

入場・参加無料

来場者数：1,183名

アーティストについて：成清祐太 / Yuta Narikiyo

分野：美術 活動拠点：神奈川

展覧会「水の庭(標紙野に顯つ樹)」について

今回私は一篇の詩と、それに至った過程としての自らの筆跡によるメモを展示する。

9月、網走にある最奇異塚に行った。そこではヒトを埋葬する際、穀物や麻などの種を副葬する事を知り、そこから想を得て今回の制作が始まった。

対立している(かのように見える)2つの事(言)が重なりあい、意味が浮動して場所の境がとける。

私の意識の振幅は、このように元々は無礙なる地平から湧いているのでは無いのか。

さらに網走では、「君が袖湧水」という湧き水に出会い、万葉集の「君が袖」の歌から「標野」というイメージが湧き出てきた。

標野に立つ樹—その庭で、、、

懐かしいしらべが聞こえる。

不死不死不死 穂穂穂木

ぷしぷしぷし 穂穂穂木



## 天神山文化祭 2024

日時：2024年9月22日（日）10:30-15:30

会場：天神山アートスタジオ 1階

入場・参加無料

来場者数：1,072名

### 開催内容

アート&ブレイクファスト・デー（トーク：ジェフ・チャン）

シルクスクリーンワークショップ、プラモ制作無料体験会 presented by オーム模型

麻雀体験、綿あめ（南平岸商店街さん提供）

Jazz ライブ、いけばな展示（いけばな小原流はなの會）、アートな道の駅 バトキカイ

「美味しいコーヒーの淹れ方」講座 by 天神山珈琲店、モルック体験、地域特産品のご紹介 バラ&野菜

\*ジェフ・チャンとカルロ・ゴリによる成果報告展示も同時開催